

令和6年度 学校経営計画

江田島市立能美中学校

I 学校教育目標

「自分で考え、全力を出し尽くす生徒の育成」

II ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

「保護者・地域から信頼され、生徒が誇りに思える学校となる。」

III ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

「心身共に健康な体と思いやりの心を育み学力を伸ばす学校」
「教職員の資質の向上と組織の機能化を図る学校」
「地域に貢献できる開かれた学校」

IV 現状分析

S（Strength：強み）

【学校】：整った環境の中で、特色ある教育活動（応援合戦、合唱）などが行われている。（R5 生徒アンケート「学校行事が充実している」肯定的評価 94.7%）

【生徒】：素直で前向きな生徒が多く、全体的に落ち着いている。

【保護者】：学校教育に理解を示し、学校行事への参観や PTA 活動への参加なども積極的である。
（R5 保護者アンケート「教育活動に満足している」肯定的評価 85.0%）

W（Weakness：弱み）

【学校】：生徒数の減少により、学年によって単学級編制となる学年もあり、これまで通りの縦割り行事に工夫が必要になってきている。

【生徒】：生活習慣・家庭学習習慣が確立できていない生徒もおり、学力の定着において較差が見られる。授業における発言について苦手意識がある生徒も多い。また、不登校生徒数（傾向も含む）が増加傾向である。

【保護者】：保護者の就労等の関係で、親子で十分接する時間や機会がとれない家庭も多い。

O（Opportunity：支援的要因）

【地域】：学校や生徒へ関心や期待が高く、総合的な学習の時間の活動にも協力的である。地元高校や特別支援学校と連携しやすい。

【市・県・国】：人的・予算的支援がある。研修体制や教育資料等が充実している。

T（Threat：阻害的要因）

【地域】：生活が困難な家庭が増加している。通学範囲が広くバス便が少ない。

【市・県・国】教職員の通勤が広い範囲である。また、教職員の大量退職等により年齢構成の不均衡が年々著しくなっている。

【令和5年度 標準学力調査（江田島市小中学校学力調査）】 ()は目標値との差

	国語	社会	数学	理科	英語
1 学年	67.7(+10.4)	48.6(-9.7)	63.2(+6.8)	63.6(+3.1)	47.4(-7.0)
2 学年	72.6(+9.1)	42.2(-3.8)	47.0(-5.8)	63.1(+6.3)	52.4(+2.2)

【主体的な学びに関するアンケートの肯定的回答の割合】

主体的な姿勢 87.6% 見通しをもった計画 83.2% 課題意識 87.6%

【時を守り、場を清め、礼を正すことに関するアンケートの肯定的回答の割合】

ノーチャイム 95.6% 黙動清掃 94.7% 立腰・黙想 78.8% 挨拶 89.4%

【不登校生徒数】

令和5年度 8名/126名

【学校行事の満足度の肯定的回答の割合】

学校行事（生徒）94.7% 学校行事（保護者）96.6%

【体力・運動能力調査】

R5 新体力テスト（第2学年）においては、男子・女子ともに全国平均値や県平均値を上回っている。「仲間と楽しく体を動かすのが好き」に対する肯定的回答割合 91.2%

V 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標 【目標値】
基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力を育成する。	①主体的な学びを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型学習の考え方を生かし、課題発見・解決学習の各過程を位置づけた単元開発と実践を図る。 ・「毎日ノート」への指導助言を行うことで、自己教育力を育む。 	生徒アンケートでの肯定的回答の割合 【「主体的な姿勢」「見通しをもった計画」「課題意識」の3項目平均 87%】
	②基礎・基本の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、基礎・基本定着のための取組を工夫する。 ・単元ごとに到達度を把握し、その改善を図る。 	江田島市小中学校学力調査の各教科で目標値を上回った教科数 【1・2学年計 10 教科のうち、8教科】
豊かな心と社会性の育成を図る。	③「時を守り、場を清め、礼を正す」取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会自治活動を中心として、「a ノーチャイム」「b 黙動清掃」「c 立腰・黙想」「d 挨拶」の活性化を図る。 	生徒アンケートでの肯定的回答の割合 【4項目の平均 98%】
	④特別活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等の目的を再確認し、生徒と共有し、精選と充実を図る。 	生徒アンケートや保護者アンケートでの肯定的回答の割合 【生徒 100%・保護者 100%】
健やかな体の育成と体力の向上を図る。	⑤体育的活動を充実させ、体力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育授業科の改善と共に業間運動や体育的行事の充実を図る。 ・部活動指導員を拡充し充実を図る。 	「仲間と楽しく体を動かすのが好き」についての生徒の肯定的回答の割合 【85%】
組織の機能化と業務改善により、やりがいのある職場環境をつくる。	⑥時間外勤務の縮減に向けた業務改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日の完全実施（水曜日）を図る。 ・行事や会議のスリム化、また、時程の工夫等により、生徒と向き合う時間の確保を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対する「やりがい」についてのアンケート肯定的回答【100%】 ・在校時間月 80 時間超の人数【0人】